

線形独立性と階数

\mathbb{R}^n の座標軸が持つ重要な性質の一つは、それぞれの軸（を表すベクトル）が「別の方向を向いている」ということである。これを数学的に扱いやすいように定義する。まず、ベクトルの個数が 2 個の場合、3 個の場合を定義し、その後、一般の n 個の場合を定義する。

定義 (線形独立).

(1). 2 個のベクトル $\{p, q\}$ が線形独立である。

$\stackrel{\text{def}}{\iff} p$ と q の一方のベクトルが他方の定数倍でない。

$\iff p$ と q が同一直線上にない。

(2). 3 個のベクトル $\{p, q, r\}$ が線形独立である。

$\stackrel{\text{def}}{\iff} p, q, r$ の内、どのベクトルも他の 2 つベクトルの線形結合として表せない。

$\iff p, q, r$ は同一平面上にない。

(3). $\{p_1, p_2, \dots, p_n\}$ が線形独立である。

$\stackrel{\text{def}}{\iff} p_1, p_2, \dots, p_n$ の内、どのベクトルも他のベクトルの線形結合として表せない。

$\iff c_1, c_2, \dots, c_n \in \mathbb{R}$ が

$$c_1 p_1 + c_2 p_2 + \dots + c_n p_n = \mathbf{o}$$

を満たすならば、

$$c_1 = c_2 = \dots = c_n = 0$$

となる。

(4). $\{p_1, p_2, \dots, p_n\}$ が線形従属である。

$\stackrel{\text{def}}{\iff} \{p_1, p_2, \dots, p_n\}$ が線形独立でない。

$\iff p_1, p_2, \dots, p_n$ の内、あるベクトルが、他のベクトルの線形結合で書ける。

定理 (線形独立と階数). A を $n \times m$ 行列とする。

(1). $\text{rank } A =$ 「線形独立な行ベクトルの個数の最大値」

(2). $\text{rank } A = n \iff$ 行ベクトルが線形独立